

東日本婦人部ニース

国 労 東 日 本 婦 人 部
発行責任者 佐々木 久恵
編 集 斎藤 七重



NO.138

発行年月日 2008年 3月 19日

第21回国労東日本 婦人部委員会開催!

第二十一回国労東日本婦人部委員会が、二〇年一月二〇日東京・交通ビルにて開催されました。北は盛岡から長野・東京までの婦人部員が結集し一九年度の運動方針を検討・決定しました。

♥ 佐々木婦人部長まとめ

一日だけの忙しい委員会でしたが皆さんの意見や考えが尽くしたよい委員会だったと思います。

郡山のSさん長い間国労で活躍され、ご苦労様でした。長野のKさんは今日の今日の意思表示で大変驚きましたが、自分だけではなくて周りの事でやめざるを得ない実態があつての決心だったということでした。

盛岡のYさんは、エルダー社員道を選ばれました。エルダー組合員として、これからも強い意思と粘りで国労を牽引してくれるでしょう。

さて、東日本会社の中では体調を崩している社員が多数出ています。出札では、大量に退職を希望する社員が出ています。心や体がぼろぼろになって働いている実態があります。

東京・長野に婦人部員が結集！
我々の思いは「国労を早く
妻が納税のたすけに！」

今の若い女性社員たちは出勤すれば泊まり勤務が当たり前の中で働いています。私たちがどうやって働き続けてこられたのか、若い人たちに語り継いでいかなければならないと思います。その中から婦人部の組織拡大の芽が育ってくるのではないかと。

一円カンパは、五八五〇円になりました。このカンパは前の残金と合わせて闘争団女性の激励のための資金にしたいと思います。有難うございました。

地方の状況

長野① 家庭の事情で退職することになりました。今後は夫がまだ社員なので、家族会のほうで協力したいと考えています。

昭和五三年の女性の職域拡大施策によって採用され、私と東京のAさんだけが残っていたのに残念です。(Aさんごめんなさい!)



長野② 昨年三月に長野事業所が廃止になり、長野駅出札勤務になった。六月から新幹線の乗換え口も持たされ、腰痛・ひざ痛がひどくなった。一日連続勤務があり大変だったのに、次の月の勤務にはその連続勤務がまた入っており、夢中で労基署に飛び込んでしまった。あとで組合から怒られたがそのときは夢中だった。

盛岡 エルダー社員に応募した。初めての面談では駅の案内勤務につきたいと希望したが、一言あ



りません。できれば地元（二戸）でという二戸にはありません。話にならない。

二回目は最初に、私の希望を聞くんですよね？と念を押してはじめた。十三時間勤務でなくともいいので探してくださいと持ち帰ってもらった。三回目、二戸にはエルダーはありません。どうしますかという。考えさせてください。銀河鉄道はありますよね。駅の清掃ならあります。四回目銀河鉄道にワクはありません。盛岡でもいいです。どんな仕事がいいですか？どんな仕事があるのか？メンテナンス（掃除）ジャスタとか・・・ジャスタがいいです。と答えたがその後の返事はまだもらっていない。エルダー制度ができたとしても仕事がありません。無く選ぶというより探しているのが実態だ。あるいは国労に対する嫌がらせなのか？

♥ 仙台ではエルダー社員で単身赴任という例もあるそうだ。

郡山 ビジネス駅ネットセンターで働いています。東北総合サービスの子会社で大手の会社へパソコンで切符の発券サービスをしています。国労は九名居る。組合色を出すと職場がぎすぎすしてくるので出さないようなあなあで仕事をしている。月一回班集会を持ち分会執行委員会に出している。出向になったら半休が取れなくなった。同じ社員なのにおかしい。日勤だから決まった分だけしか入ってこないのは解るが、東労組には超勤がついている。そんな時差別を感じる。

東京総合病院 深夜明けの看護師が九時から昼まで残って仕事をしている。超勤は書くようにしている。

外来の看護師、救急病棟の看護師は不安を抱えながら仕事をしている実態がある。体裁ばかり整えて中で働く人たちはどんな病気になるっていくのではないかな？

郡山 出札勤務をしています。日勤あり、泊まり勤務ありで大変です。新規採用の若い人たちも泊まり勤務に入っている。改札勤務

は、メンバーの半分が泊りがある。

出札・改札のワンフロア化で勤務表が一体になったが、上のほうは変わらないが下のほうは行ったたりきたりしている。

♥ 国労は差別されているので菌表の下の方で若い人たちと入れ混じっているということかな？

青年部長挨拶！

なかなか組織が増えていかないう悩みがあります。昨年は新規採用で一名国労に入ってくれたが、組織化してゆく難しさがあります。正しいことは正しいといっていくことが大切で、国労の運動を広く解ってもらうことが組織化への道だと考えます。

伊藤委員長あいさつ

1047 名の訴訟は一昨年の9.15 判決をにらんで、四者四団体の話し合いで課題要求の段階に入っている。二〇年経っても不採用事件が風化していないことは、11.30 集会で証明できた。1.23 の全動労判決を見て 1.26 の 178 回国労中央委員会の方針を決めたい。

組織問題は国労の最重要課題だ。新規採用の情報が東労組にだけ筒抜けなのは阻止したい。その件に関して申し入れをする。

GSの正社員化の問題もある。責任を持たされながら1年雇用のスタッフでは不満が出て仕方が無い。我々は非正規社員の組織化が課題だ。（要旨）

♥ 2007 年度婦人部常任委員 ♥

役職	氏名	地本
婦人部長	佐々木久恵	東京
副婦人部長	小野寺京子	盛岡
常任委員	加藤和子	仙台
常任委員	齋藤七重	水戸
常任委員	倉石真知子	長野
常任委員	奥村京子	東京

これから中央行動で行動をともにしていきましょう。